

第15回「福祉・環境のまち部会」 会議録

1 開催日 平成29年8月23日（水）9：30～

2 場所 新見市役所 3階会議室

3 出席状況 出席8名

部会長	上前 文昭	出席	副部会長	西田 勝江	出席
委員	大月 礼子	出席	委員	早瀬 正弘	出席
委員	宮地 恵子	出席	委員	栗本 真吾	出席
委員	鈴江 恵子	出席	委員	前田 道子	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 2名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

部会長挨拶

3 協議

協議に先立ち、防災担当職員から市の防災に関する現状等の説明を実施。

○現在、市の防災士は何人いるか。

→H29.3月末で52名。また、今年も8名程度が資格取得の見込み。

○防災士の配置状況で、地区に偏りがあるか。

→自主防災組織の設置地区にもよる。市から自主防災組織の中で、一人以上は防災士の資格取得をお願いしており、人数的には増えている状況。加えて、郵便局の局員も、郵便局の方針に基づき、防災士の資格取得に取り組んでくれている。

○地域内の危険箇所の洗い出しとか、そういった場所を市へ進言するといったことも活動範囲に含まれるか。

→含まれている。地区でウォーキング大会などを実施する際に、参加者同士で情報共有したりする地区もあり、良い取り組みだと思っている。

○危険箇所の改善要求なども総務課にお願いすれば対応してもらえるのか。

→可能です。

○住宅用火災警報器の設置状況などは消防だろうと思うが、設置状況などを確認し

たりする活動も自主防災組織で対応したりすることは可能か。

→可能ではないかと思う。

○自主防災組織ができていない地域もあるか。

→未組織地域はある。現時点では、市の中心部や大佐・神郷地域が少ないかと思う。

- ・引き続き自主防災組織全体協議会を開いて、お互いに情報共有ができるようにしてほしい。
- ・地域によっては、やはり温度差もあると思う。哲西なども旧町全域を対象に組織されているようだが、実際に動こうとするときは、大変なのではないかとも思う。
- ・実際に何か動かないといけない時は、確かに十分動けていないと思う。
先日、上市の自主防災組織が研修会を行ったという話題がiチャンネルに出ていた。NPO法人の方が講師として話をされていたが、そのような機会があればぜひ受けてみたいと思った。
- ・市中心部では、民生委員から要援護者台帳の更新依頼が来ていた。12月までではあったが、こうした活動も重要だと思う。
福祉委員なども含めて、町内で意識を持って、誰が誰を助けるといったことも必要になってくるのではと思っている。
- ・地域の弱者の実態を知ることが必要だと思う。手助けがいる人は、毎年でも申請をしてもらおうといった方法があるのではないか。
- ・自主防災組織を全域に立ち上げるためにといった内容が良いかと思う。それと身近なものでなければならないと思う。
例えば、防災無線で月に1回、防災に関するアドバイスを流すといったこともやってみてはどうかと思う。
- ・地区ごとに防災マップを作成するといったことも重要だと思う。また、防災に関する講演会などの開催も良いのではと思う。
また、災害が発生した時の情報を収集する手段の整備といったことも重要だと思っている。告知放送では、停電時などに情報が入手できない可能性もある。
- ・意識付けを行うためにも、講演会の開催や小集落単位での防災マップづくりなども必要だと思う。その他、弱者への救助支援体制づくりがっていると感じている。
- ・今回の会議でも、自主防災組織に関連する意見が多かったように思う。今日出た意見をもとに考えていきたい。
自主防災組織の話がやはり中心になると思うので、よろしくお願ひしたい。